

新たな取り組み

てんしゃば

共同生活援助事業所てんしゃばは、現在「あすか」女性13名、「そら」男性4名の利用者さんが入居されています。

てんしゃばで、グループホーム・日中活動事業所「一体化支援」が始まり半年が経とうとしています。一体化支援になると、2名の専属職員に加え、法人職員がてんしゃばと日中活動事業所の両事業所の所属となり、てんしゃばの早番を終えた後に日中事業所の勤務に入る。または日中事業所の勤務後に遅番。そして宿直業務もおこなう体制になります。そらでは昨年度より、本年度よりあすかも合わせて一体化運営が行われています。職員だけでなく利用者さんも当初は戸惑われていましたが、

現在は軌道に乗り、職員で力を合わせて利用者さんの支援に携わらせて頂いております。一体化運営が導入された背景には昨今の採用難や様々な事情があるのですが、多くの職員がグループホームの運営に関わることにより、利用者さんの新たな一面が見られるようになるなどの今まで気付かなかったことや発見がたくさんありました。

また訪問診療・看護の導入や、週末の移動支援の利用、地域連携の推進など、地域生活の基盤として、今後も職員一同、利用者さんの為に多くのことに取り組んでいきたいと思えます。

サービス管理責任者

勤続24年 前山 秀邦

花言葉「たくさん幸せ」

がじゅまる

共同生活援助事業所「がじゅまる」も、開所から1年が経過しました。皆様のあたたかいご協力もあり、利用者さんも「がじゅまる」の生活に慣れてきたところです。現在、南側の棟（珊瑚）が利用者8名、北側の棟（瑠璃）が利用者7名の計15名が生活しています。

「がじゅまる」の基本理念でもある「ひとりひとりの福祉（幸せ）、当たり前の生活を支える」を日ごろから考え、利用者さんにとって安心して心地よく、笑顔で毎日過ごすことのできる環境づくりに努めています。また、ひとりひとりの楽しみの充実を図りながらも、利用者さんの高齢化も進んでいますので、安全で健康的に過ごすことのできる支

援を行っていききたいと思えます。外出や外食を楽しみにしている利用者さんも多いので、「行きたい場所」「食べたいもの」の希望を聞きながら、これからも楽しんでもらえる計画をたくさん立てていきたいと思えます。

生活支援員

勤続10年 金澤 将太

